

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年02月15日

計画の名称	益田市における下水道事業の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～平成30年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	益田市												
計画の目標	浸水対策の推進により安全・安心な地域の形成を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	161	A	161	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)
1	下水道による都市浸水対策の達成率を73.0%（H29）から73.7%（H30）に増加 浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 都市浸水対策達成率 = (概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積 (ha)) / (浸水対策を実施すべき区域の面積 (ha))	73%	%	74%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	益田市	直接	益田市	管渠(雨水)	新設	管渠整備事業(益田排水区)	雨水管 1500×1400 L=27 7m	益田市						161		-
											小計						161		
											合計						161		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
益田市において評価を行い確定	令和3年2月
	公表の方法
	益田市のホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	吉田排水区の整備により、浸水対策達成率の向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
浸水対策達成率について目標を下回る結果となった。引き続き、下水道施設による浸水対策を推進し、安全・安心な地域の形成に努めるため、次期（令和元年度から令和5年度）社会資本総合整備計画においても、整備を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	74%
	最終実績値	73%
		目標値73.7%に対して、実績値73.3%。地権者との調整により下水道整備に遅れが生じ、実績値が目標値を下回る結果となった。